

令和4年度事業報告書

社会福祉法人 至福の会

法人本部

特別養護老人ホーム むさしの園

むさしの園ショートステイ

ケアハウス むさしの園

むさしの園デイサービスセンター

サービス推進課

ひまわり保育園

特別養護老人ホーム むさしの園わかば

むさしの園デイサービスセンター富士見

むさしの園在宅介護支援センター

むさしの園ホームヘルプサービス

生活困窮者に対する相談支援事業

むさしの森保育園

目 次

法人本部	P 1 ~ P 4
特別養護老人ホーム むさしの園 むさしの園ショートステイ	P 5 ~ P 6
ケアハウス むさしの園	P 7 ~ P 8
むさしの園デイサービスセンター	P 9 ~ P 1 1
サービス推進課	P 1 2 ~ P 1 3
ひまわり保育園	P 1 4 ~ P 1 5
特別養護老人ホーム むさしの園わかば	P 1 6 ~ P 1 7
むさしの園デイサービスセンター富士見	P 1 8 ~ P 2 0
むさしの園在宅介護支援センター	P 2 1 ~ P 2 2
むさしの園ホームヘルプサービス	P 2 3 ~ P 2 4
生活困窮者に対する相談支援事業	P 2 5 ~ P 2 6
むさしの森保育園	P 2 7 ~ P 2 8

法人本部

1 社会福祉法人至福の会・法人の概要

- (1) 主たる事務所の所在地
埼玉県狭山市南入曽1044番地1
- (2) 代表者名
理事長 大野 裕 明
- (3) 法人認可年月日
平成9年3月19日
- (4) 法人認可番号
指令高福第1745号
- (5) 法人設立登記年月日
平成9年3月21日

2 法人の行う事業

(1) 第1種社会福祉事業

No	施設種別	利用定員
1	特別養護老人ホーム（従来型）	90名
2	特別養護老人ホーム（ユニット型）	100名
3	ケアハウス	20名

(2) 第2種社会福祉事業

No	施設種別	利用定員
1	ショートステイ	10名
2	デイサービスセンター（入曽）	60名
3	デイサービスセンター富士見	45名
4	在宅介護支援センター	
5	ホームヘルプサービス	
6	生計困難者に対する相談支援事業	
7	認可型保育園 むさしの森保育園	90名
8	一時預かり保育園 むさしの森保育園	10名

(3) 公益を目的とする事業

No	施設種別	利用定員
1	在宅介護支援事業	
2	企業主導型保育園 ひまわり保育園	19名

(4) 職員数260名

3 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数		審議・決議事項
	理事	監事	
令和4年5月20日	6	2	決議事項 1、重要な人事について 令和4年6月1日から就任する施設長、園長 むさしの森保育園 園長 大野沙織 ケアハウスむさしの園 施設長 大野裕一 ひまわり保育園 園長 石崎健一 書面理事会で同意書を全員から受理
令和4年6月3日			決議事項 1 令和3年度事業報告(案)について 2 令和3年度決算報告と福祉充実残高(案)について 3 令和3年度監事報告について 4 むさしの森保育園の園則、運営規程の別表の一部改正(案)について 6 給与規程(介護、保育)の一部改訂(案)について 7 定期評議員会の開催日と議題について 報告事項 理事長の活動状況及び決裁について
令和4年9月30日	6	2	決議事項 1 就業規則の一部改訂について 書面理事会で同意書を全員から受理
令和4年10月26日	6	1	決議事項 1 令和3年度積立金について 2 第1次補正予算(案)について 報告事項 理事長の活動状況及び決裁について
令和4年3月31日	6	2	決議事項 1 第2次補正予算(案)について 2 非常勤就業規則、ひまわり保育園給与規程の一部改正(案)について 3 令和5年度事業計画(案)について 4 令和5年度当初予算(案)について 5 時期任期の理事・監事候補者の推薦について 6 評議員の変更について

			7 第三者委員の変更について 8 ひまわり保育園の人事について 9 むさしの森保育園の給食費値上げについて 10大規模修繕について 報告事項 理事長の活動状況及び決裁について その他 6月の理事会、評議員会の日程調整
--	--	--	---

4 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数		審議・決議事項
	評議員	監事	
令和4年6月20日	7	2	書面決議事項 1 令和3年度決算報告について 2 社会福祉充実残額について 3 監事監査報告について 評議員全員の同意書を頂きました。

5 評議員選任・解任委員会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議・議事事項
開催なし		

6 監事監査の状況

監査年月日	監査内容及び結果
令和3年6月3日	<p>内 容</p> <p>社会福祉法人至福の会の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度に関して、理事の業務執行の状況及び社会福祉法人至福の会の財産の状況について「監事監査重点項目」に従って監査を実施した。</p> <p>結 果</p> <p>令和4年度の社会福祉法人至福の会の事業報告、財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び決算付属明細表は、関連する法令及び通知に従った監査の結果、適性であった。</p>

特別養護老人ホーム むさしの園
むさしの園ショートステイ

事業所目標	【1】稼働率 平均98%/年 ⇒96.4% 未達
	【2】身体拘束ゼロ 期首当初4名→0名
	【3】不適切行為ゼロ
	【4】ご入居者のQOL向上
	【2】定着率向上（離職率）⇒2022年度 19.7%

結果	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計	平均
稼働(平均)	86.4	91.5	93.4	95.8	96.8	96.8	96.8	99.3	100.9	101.1	99.8	98.3	1156.9	96.4
入居	5	8	4	6	4	2	3	5	2	0	2	2	43	3.6
退居	2	1	5	3	1	2	4	0	1	1	3	4	27	2.3
入院(延べ)	183	195	129	90	149	158	106	78	47	79	97	103	1414	117.8
特養新規申込	6	7	8	8	12	5	3	6	7	13	10	6	91	7.6

<p>【稼働】 前年度末のクラスターと上期コロナ陽性者発生の影響の受け上期での稼働が大幅に低下 上期平均稼働 93.5% 下期平均稼働 99.4%</p> <p>【身体拘束、不適切ケアゼロ、ご入居者QOL向上】 身体拘束は期首当初4名を0名に改善 不適切ケアゼロについてはマニュアル整備継続中 その他運営内容について大幅な変更を実施 ・受診、救急搬送、オンコール体制の変更 ・シフト調整を主任からチームリーダーへ移管 ・ショートベッドコントロールを1チームへ集約</p> <p>【職場環境の改善】 ・ボイラー撤去による収納スペースの確保 ・余剰スペースにおける不要物品の撤去廃棄 ・物品の管理体制を整備→余剰在庫の削減（おむつ、おしぼり等消耗品）</p> <p>【定着率向上】 離職率 19.7% 前年対比 2.1%上昇 期首当初在籍 常勤8名 非常勤3名退職 中途入職者 非常勤2名退職</p>

ケアハウスむさしの園

事業所目標	<p>【1】稼働率 平均100%/年 ⇒ 99.5%</p> <p>【2】感染予防に努める ⇒3名のコロナ感染あり</p> <p>【3】クラブ活動の再開</p> <p>【4】リハビリロードの活用</p>
-------	---

結果	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計	平均
稼働(平均)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	94.1	1194.1	99.5
入居	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0.2
退居	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	4	0.3
クラブ活動	5	5	5	5	5	5	5	5	5	0	3	3	51	4.3

【稼働】

安定した入居率を維持

平均年齢87.1歳 平均介護度 1.1 特養よりも平均年齢が高い現状

退去者は特養、有料への転居 要介護3以上の方と認知症の方が退去されました。

待機状況 10名ほどの相談者が待機している状況があり、退去予定にあわせ翌月入居をスムーズにご案内することができています。

【感染予防への取り組み】

1月3名のコロナ感染が発生、即日居室隔離を行い拡大の抑止ができました。

3名中2名は無症状、1名は軽症となり10日の隔離機関で終息となっております。

【クラブ活動の再開】

今年度よりクラブ活動を再開

手芸クラブ 保育園の手作りおもちゃの製作をきっかけに園児との交流機会も増やすことが可能となりました。毎週活動するほど活発に開催されています。

映画鑑賞 定期的に集まる機会を増やすきっかけとなり、入居者同士の交流が戻りつつあります。

クラブ活動の再開により、他部署との交流機会も増え、入居者同士の交流も活発になっています。平均年齢が高くなってきているため、今後の支援体制や待機者の確保等新年度での見直しを行います。

むさしの園デイサービスセンター

部署目標 (令和4年度)	【1】感染予防を徹底し、利用者様が安心して利用できる環境を作りま	達成
	【2】要支援から中重度迄幅広い方々を受け入れご利用者様のニーズに 対応を職員が出来るように周知していく。	達成
	【3】月25日を営業を想定、最大40名として延べ1000人を目標とする。	未達
	新体制を整え月の営業日には日々の利用者の様子をCMに報告する。	
【1】感染予防を徹底し、利用者様が安心して利用できる環境を作ります。		
感染者や濃厚接触者が発生した場合等に備え、静養室やデイ空間等の分けに係るシミュレーション や、人員体制に関する施設・事業所内、法人内等の関係者との相談、物資の状況の把握を行うとともに、 感染者等が発生した場合の対応方針について、利用者や家族と共有を図りました。		
【2】要支援から中重度迄幅広い方々を受け入れご利用者様のニーズに対応を 職員ができるように周知していく。		
在宅サービスへの事業拡大が必要であると考えられている中で、デイサービスの利用目的を職員全体 で共有し、ご利用者様のニーズに対応出来るように、スタッフについては介護現場での経験を積み上げ、 初任者研修→実務者研修→介護福祉士へのキャリアアップへのフォローを行い、全ての職員が地域 を支え続けられるスタッフになれるよう周知した。		
【3】月25日を営業を想定、最大40名として延べ1000人を目標とする。 新体制を整え月の営業日や日々の利用者の様子をCMに報告する。		
コロナ渦の中、職員やご利用者様の体調管理等に努め、営業を自粛することなく、最小限の感染に止 め、年間を通して営業が実施できた。目標数に対しては、1日平均利用者は約30人、延べ人数に対し て約77%の達成率となりました。 定期的に各居宅事業所、関係機関へ訪問を行い、パンフレットやケース記録を携え、ご利用者様の課 題や様子をCMと共に対応できる協力関係を構築しています。		
<総評>		
今年度は「稼働率の向上」を最大限の目標に定め、職員一人一人がご利用者様に「より良いサービスの提供 をするためにはどうすれば良いか」・「どうすれば楽しんで頂けるか」を考え、季節のイベント・業務改善 スタッフの技術の修得に努めてきました。その結果、新規利用者の獲得、現利用者の曜日の増加等稼働率に おいてはある程度の成果を出すことが出来たと思います。しかし今後は更に稼働率を上げるためには人員の 補充も欠かせないと考えています、増大する業務の円滑な処理のために若干名の職員の補充が必要です。		

要介護度別 利用状況

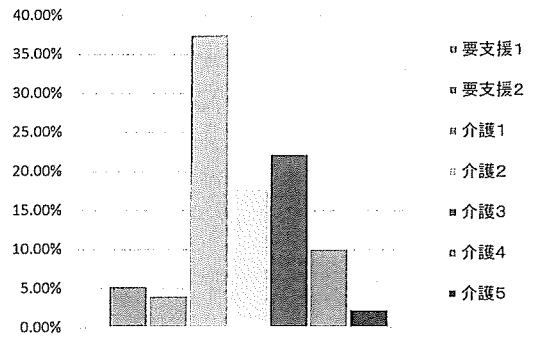
令和4年度年間介護度別利用票

令和4年度は、要支援者の70%を占める通所型サービスAの利用から通所型独自サービスへ移行されたご利用者が90%を超えました。そのため、要支援者の利用料は約25%の増加となりました。

利用延人数は、前年度より、要支援者は約86%の増加、要介護1は11%の増加、要介護2は6.2%減少、要介護3は12.9%増加、要介護4は15.8%の増加、要介護5は44.8%の減少となり、全体では約109%の増加となりました。

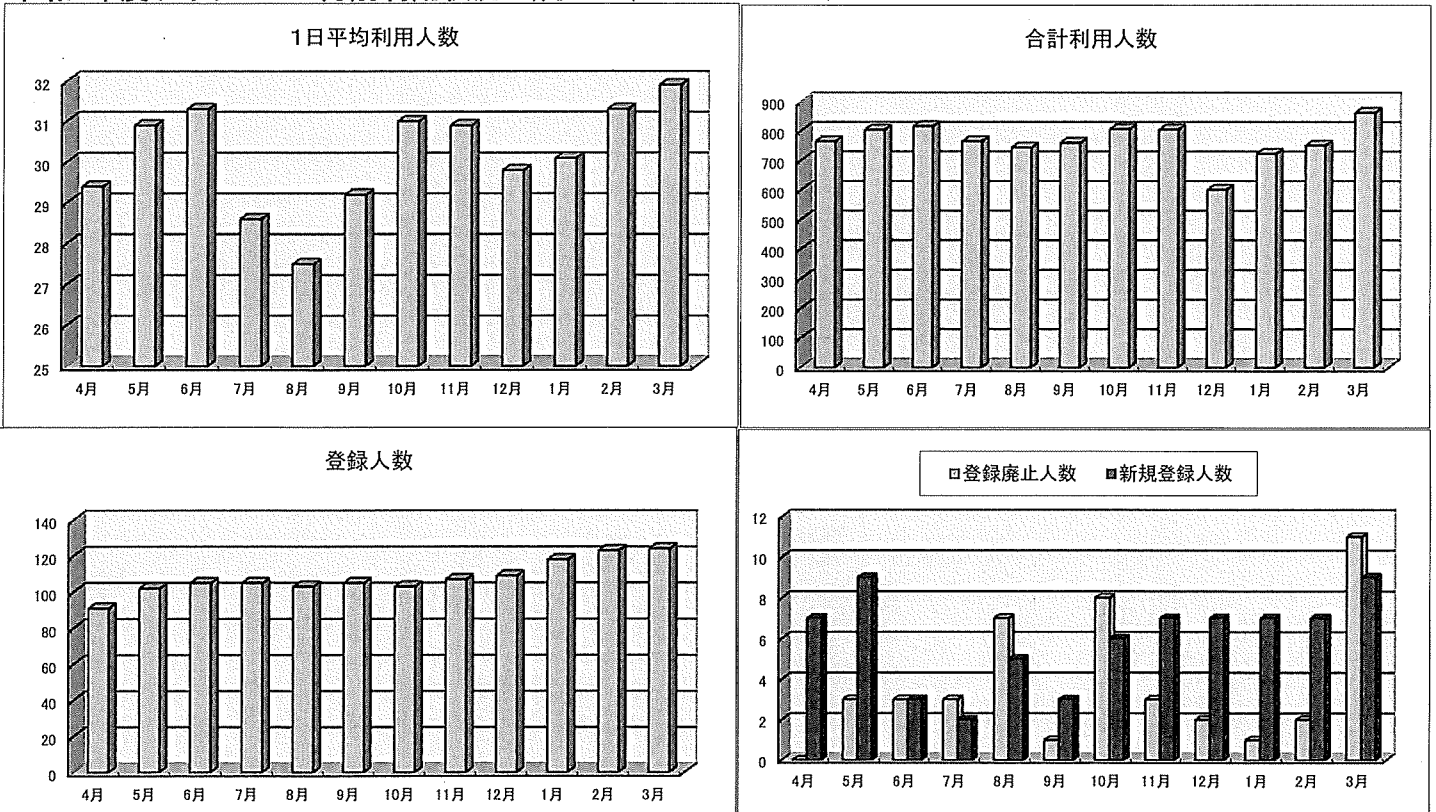
年間新規登録者数は57名、登録廃止人数45名、総登録者数117名となりました。登録廃止理由は、入院や施設入所等がほとんどの理由を占めており、コロナ感染予防のため利用を中止したご利用者様もいました。

介護度分布は、介護度3以上のご利用者様が約4割を占めており、全国平均値と同等の分布となり、今後も増加すると考えられます。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率
要支援1	4	3	2	2	3	5	5	6	9	8	9	10	66	5.42%
要支援2	3	3	3	3	4	4	4	4	5	4	6	8	51	4.19%
要介護1	37	39	40	40	38	38	40	39	38	37	36	36	458	37.63%
要介護2	16	18	17	17	18	18	16	17	16	21	20	23	217	17.83%
要介護3	20	24	24	23	22	22	23	23	22	26	21	22	272	22.35%
要介護4	9	9	10	9	9	9	11	12	12	11	11	12	124	10.19%
要介護5	3	4	4	3	2	2	1	2	2	2	2	2	29	2.38%
請求人数	92	100	100	97	96	98	100	103	104	109	105	113	1217	100%

令和4年度デイサービス月別利用状況 (月～土)



	R4.3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
1日平均利用人数	29.1	29.4	30.9	31.3	28.6	27.5	29.2	31	30.9	29.8	30.1	31.3	31.9	30.2	31.4
延べ人数目標	910	850	850	850	850	850	850	848	899	862	870	813	964	863.0	850
合計利用人数	748	764	803	815	764	743	759	805	804	601	722	750	861	765.9	805.5
介護給付	710	727	773	771	736	702	715	759	754	546	668	671	762	715.3	783.2
予防給付・総合事業	38	37	30	53	26	41	44	46	50	55	54	79	99	51.2	22.3
登録人数	92	91	102	105	105	103	105	103	107	109	118	123	124	107.9	136.3
登録廃止人数	2	0	3	3	3	7	1	8	3	2	1	2	11	3.7	3.4
新規登録人数	5	7	9	3	2	5	3	6	7	7	7	7	9	6.0	3.3

サービス推進課

部署目標 (令和4年度)	【1】採用強化：問合せ200件 面接75件 → 実績 問合せ190件 面接58件 採用 介護 40名 (内新卒5名) → 実績 介護30名 (内新卒4名) 保育 5名 (内新卒2名) → 実績 保育8名 (内新卒1名)	未達 未達 達成
	【2】人材定着支援：離職 前年度対比 -6名 (離職率3%減) → 実績 -6名 (離職率2%減) 新卒フォローアップの実施 → 定着面談未実施	未達 未達

結果	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計
学校訪問	0	7	0	15	1	2	0	0	0	0	0	5	30
合同説明会	1	1	3	2	1	2	1	4	1	1	1	2	20
採用数	介護：30名 (内新卒4名) ※事務・栄養士含む 保育：8名 (内新卒1名) ※事務含む												
離職状況	離職者 介護：28名 (前年比-5) 保育：10名 (前年比-1) 計38名 (前年比-6)												
	離職率 14.7% (前年比-2.0%)												
	※介護：13.3% (前年比-2.2%) 保育：23.8% (前年比-1.2%)												

【採用目標】

- 学校訪問：前年度、同様にコロナ感染状況の影響で直接訪問を懸念する学校が多く、訪問数が伸びない状況が続く。来校可能な学校への訪問、その他電話やDMによる対応によりカバーを図る。
- 合同説明会参加：埼玉県、ハローワーク、社協、学校等の説明会と介護の魅力PR隊も合わせて20回参加。新卒者が見学・面接へ繋がり採用に至ったケースあり。(新卒1件)
- 法人ホームページ：ホームページからの採用は前年度より減少に至ったが、割合としては内定者の3割以上を占める傾向が見られた。
令和4年度実績 (中途：36.8% 前年度比-17.7% 新卒：20.0% 前年度比±0%)
令和5年度も光洋通信と定例会議を行ない、リスティング広告の戦略を検討のうえ実行予定。
必要に応じて広告停止期間を設けるなど、緩急をつけることによる効果の有無を検証。
- 採用活動管理：昨年度の媒体や説明会参加など、予実管理で効果が高いものを分析・把握。
その他、新しい媒体も取り入れ検証。(indeedの有料版・採用課金型カイゴジョブ等)
採用活動費：採用にかかる費用を集計して予算管理をする。予算は6,000,000円。
→ 令和4年度 予算：6,000,000円、実績：6,678,140円 (-678,140円)
下半期に保育士の専門媒体を2つ併用、栄養士の採用を人材紹介経由で受け入れたため予算を大幅に超え、予算内目標は未達成となる。

【定着支援目標】

- 新卒フォローアップ：1・3・6・12か月で面談を実施。令和4年度5名、令和5年度7名。
- サイボウズのワークフローの他、個人フォルダを活用した情報共有の実施・情報を把握することで、打合せや面談のスケジュールをスムーズに実施していく。

ひまわり保育園

目 標	<p>【1】入園児を7月までに15名（稼働率79%）を達成する。⇒ 66%</p> <p>【2】保育の質の向上：キャリアパス研修を積極的に受講する。 常勤職員を中心に内部研修を実施する。</p> <p>【3】仕事の効率化,ICT化を推進する</p>
-----	--

令和4年度の入園児目標

	クラス	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	定期的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
1		6	6	6	6	6	7	8	9	9	9	9	9	7.5	
2		7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	5	6.3
3		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		13	13	13	13	12	13	14	15	15	15	15	15	14	14
	稼働率	68%	68%	68%	68%	63%	68%	74%	79%	79%	79%	79%	74%	72%	
一時預かり		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	

行動目標

【入園児目標】

- ・園児募集のための営業活動が実施できず稼働は72%平均となる
- ・年度内での卒園が多くR5年度のスタートが7名まで落ち込む

【保育の質の向上】

- ・常勤1名退職に伴いR5年度での体制の見直しと常勤の採用に取り組む
- ・キャリアパスの受講状況が低いため、R5年度でのキャリアパス受講を促進する
- ・コロナだけに限らず、園内でのインフルエンザ等感染症の発生があったため、職員に対する感染予防対策への研修棟教育の見直しを行う。

【業務の見直し】

- ・物品管理を見直し余剰在庫の整理
- ・保育室内備品のレイアウト等見直すことにより、保育スペースの安全性を高め、業務効率をあげました
- ・保育室内の整理により、保育の安全の振り返りを実施することが可能になりました。

【総括】

園児募集に関する営業活動の確保が不足していたため、定期的な営業活動の時間確保と効率的な園児募集を行動目標として設定し、実施することとします。

特別養護老人ホーム むさしの園わかば

事業所目標	【1】年間平均稼働率 98%以上	⇒95.12% 未達
	【2】ケアマニュアルの浸透	
	【3】個別ケア、認知症ケアのスキル向上	⇒【2,3】研修及びユニット会議で周知 達成
	【4】魅力ある職場環境の整備	⇒定期面談を実施 達成
	【5】BCP（業務継続計画）の策定	⇒新型コロナ 完成 自然災害 作成中 未達
	【6】職員離職率10%以下	⇒特養全体で9.7% 達成

結果	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
【1】全体稼働	95.4	94.7	94.5	95.2	99.4	97	96.7	92.3	93.5	93	94.4	95.3	1141.4	95.1
【1】特養延べ人数	2833	2878	2828	2874	2997	2878	2921	2718	2796	2786	2552	2845	33906	2826
【1】SS延べ人数	30	58	7	78	85	34	79	51	101	95	91	107	816	68
【1】延べ入院人数	5	67	84	72	36	32	47	60	56	9	37	95	600	50
【1】新規申し込み	3	4	3	3	2	5	3	2	2	4	2	4	37	3.08

<p>【1】稼働</p> <p>下期に、退居が集中し入居が追い付かない状況が続いた。（年間退居数27名のうち、下期退居数は19名） また、11月末から新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したため、入居を中断せざる得なかった状況も要因となった 原因は申込件数の減少と、退居数を見越した調査等の準備不足が考えられ、受け入れ態勢の見直しを行った 具体的には、相談員が行っていた入居相談や実調業務を副主任以上の責任者が対応できるように改善した 新規申し込み獲得のための営業については、相談員以外に主任も営業活動ができるように指導していく見込み</p> <p>【2,3】ケアマニュアルの浸透、個別ケア、認知症ケアのスキル向上</p> <p>各ユニットでケアマニュアルに基づく目標設定を行い、マニュアルに目を向ける意識づくりを行った サービス担当者会議から24時間シートの見直しにつなげ、前年度よりも精度を上げることができた e-ケアラボ（研修ソフト）の導入により、最新の介護の知識を得る機会につなげられた</p> <p>【4】魅力ある職場環境の整備</p> <p>新入職員に対する定期面談の実施を行い、細やかな配慮ができた 各委員会で委員長を選出し、委員長中心に会議や運営を進行する形ができた</p> <p>【5】BCPの策定</p> <p>新型コロナウイルス感染症に対するBCPは作成完了とし、自然災害に関するBCPは次年度持ち越しとする</p> <p>【6】職員離職率10%以下</p> <p>退職者数 7名 離職率 9.7% 年間離職率は特養全体で9.7%となり目標達成</p>

むさしの園デイサービスセンター富士見

利用者様状況・概要

「狭山市介護予防・日常生活支援総合事業」と「通所介護」のサービスを提供しました。利用者様、ご家族に感染症対策へのご理解とご協力を得ながら自立した日常生活を営むことができるように支援しました。

(別紙参照)

チーム活動

<挨拶・接遇チーム>

・職員朝礼で曜日ごとに「クレドの唱和」を実施しました。また、隔月ごとに接遇目標を掲示し、職員の士気向上に努めました。

<レクリエーションチーム>

・脳トレドリルの発行(1回/月)脳トレプリントの差し替え(1回/週)、感染症予防に対応した個別制作レクを毎月実施しました。

<フロアインテリアチーム>

・制作レクで作った作品をインテリアとして展示することで、ご利用者に喜ばれました。

・作品展では、ペットボトルのキャップを使用した「干支の兎」の壁画を作成しました。

<お誕生日チーム>

・大きなお誕生日ケーキを紙粘土で作り、お誕生会ではご利用者の笑顔が増えました。

<体力向上・気分向上チーム>

・感染症が流行し、外出機会が減り、体力と筋力の低下が課題です。一日の運動時間を増やすため、曲に合わせたリズム体操や脳トレを意識した体操を取り入れました。

・晴れた日には、屋外で体操や歌を唄い活気ある時間を過ごして頂きました。

人材育成・自己実現

・今年度の採用は、看護師2名、ドライバー1名でした。退職者は4名でした。

・離職率 20%

・新人職員の教育では、マニュアルとチェックリストの活用、個別面談など細やかな指導を心掛けました。又、職員皆で声を掛け合い、育成することを意識しました。

会議・研修

<デイ会議>

・感染症予防のため、月1回紙面回覧によるチーム進捗報告、利用者様の状況確認、日常業務の情報共有、見直し等を行い他種職間の連携を図りました。

・オンラインによる研修を実施しました。

「接遇マナー」「認知症ケア」「事故防止」「緊急時対応」「感染症対策」「虐待防止」「プライバシー保護」等の内容でした。

・研修参加後は、研修受講報告書を記入し、研修の振り返りを行い、知識の習得に努めました。

認知症ケア

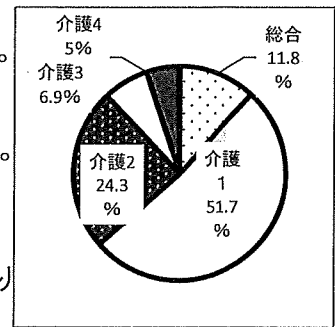
・感染症予防を行いながら、「オセロ」や「かるた」「トランプ」などのテーブルゲームを通して、他者との交流を楽しむ機会を提供しました。

・認知症チームを中心に課題を抱えたご利用者へのアプローチを考え、職員全員でケアに関わり、伝えあうことを繰り返しながら介護の質の向上に努めました。

要介護度別 利用状況

令和4年度年間介護度別利用率

令和4年度日常生活支援総合事業A型は、新型コロナウイルス感染症の流行が長引く中、外出機会を求める高齢者が増え、新規利用人数が増加しました。介護給付の介護度別利用率は、要介護1が3.2%減、要介護2が1.2%増、要介護3が2.5%減となりました。



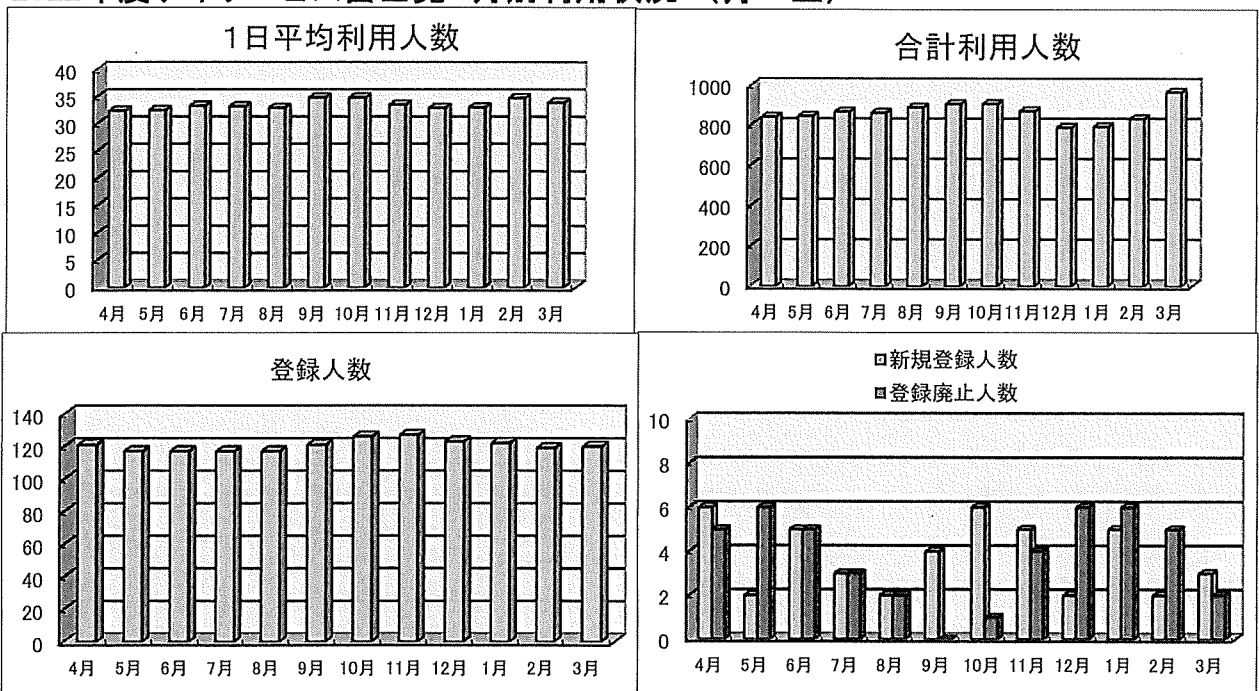
年間の月延べ平均人数は、864名と前年との比較で25.9名減となりました。月延べ平均人数の減少に伴い、令和5年度4月から事業所の規模変更を実施しております。大規模型Iから通常規模への変更となりました。

年間の新規登録者数は45名、登録廃止人数は45名、総登録者数120名となりました。登録廃止の理由は、入院と施設入居が半数以上を占めており、状態変化による利用変更となっています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率
総合事業	10	10	9	10	10	11	14	17	18	17	18	19	163	11.8
要介護1	60	61	60	58	58	63	65	59	58	57	57	60	716	51.7
要介護2	26	26	29	29	29	27	28	30	28	27	29	29	337	24.3
要介護3	13	10	10	9	9	10	8	8	6	5	4	4	96	6.9
要介護4	5	5	5	6	6	6	6	7	7	6	5	5	69	5
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0.2
請求人数	114	112	113	112	112	117	121	121	117	113	114	118	1384	100(%)

※総合事業介護度別内分け 要支援1→14名 要支援2→1

2022年度デイサービス富士見 月別利用状況 (月～土)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
1日平均利用人数	32.4	32.5	33.3	33.2	32.9	34.8	34.8	33.5	32.9	33	34.7	33.9	33.5	34.7
介護給付利用実績	799	806	819	813	851	851	851	810	723	731	758	882	807.8	848.8
総合事業実績	43	44	48	49	38	55	56	61	66	62	74	82	56.5	41.1
合計利用人数	842	846	867	862	889	906	907	871	789	793	832	964	864.0	889.9
登録人数	121	117	117	117	117	121	126	127	123	122	119	120	120.6	125.3
登録廃止人数	5	6	5	3	2	0	1	4	6	6	5	2	3.8	3.8
新規登録人数	6	2	5	3	2	4	6	5	2	5	2	3	3.8	3.4

むさしの園在宅介護支援センター

部署目標 (令和4年度)	【1】総合事業対象者担当件数 月20件	達成
	【2】新規要介護件数 年間40件	達成
	【3】要介護担当件数 月平均200件	未達
	【4】地域交流	達成
	【5】研修、会議	達成

結果	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合事業対象者	20	20	21	22	22	22	19	21	22	23	23	23	258
新規要介護件数	7	4	5	4	5	3	3	9	2	4	7	2	55
要介護担当件数	174	174	177	178	178	175	179	177	177	170	164	165	2088
入院	4	7	7	10	5	6	9	9	8	12	7	0	84
退院	3	5	4	7	5	4	4	4	3	7	4	8	58
廃止	2	3	2	3	4	6	4	6	5	4	7	11	57

【1】月20件を目標としており、実績は平均21.5件を達成。

介護予防件数は徐々に介護給付へ移行していくため、平均20件程度を継続とする。

【2】新規要介護件数40件を目標としており、実績は55件で達成。

圏域包括からの紹介が半数以上を占めている。

【3】要介護担当件数については総合事業と合算で月平均205件を目標としており、実績は198件で未達。

【4】地域交流については、計画通り年間2回、広報誌の発行を行う。

事前に広報誌の送付希望を調査し、約20名に対して広報誌を送付する。

送付後には、広報誌の内容で歩行練習をしたら姿勢が良くなったなど、感謝の連絡をいただくことができた。

【5】研修、会議については、別紙のとおり圏域会議や更新研修など、オンラインを中心とした会議や

研修に参加できた。今年度は埼玉県老人福祉施設協議会の研修委員として1名、運営企画側で参画することができた。

むさしの園ホームヘルプサービス

事業所目標	【1】年間平均訪問件数（総合事業含） 50件 ⇒47件 未達
	【2】チームケアの重視・情報共有
	【3】ヘルパーのスキルアップ ⇒【2.3】ヘルパー会議で研修・周知 達成
	【4】コロナウイルス感染症の感染予防対策の徹底 ⇒利用者様への感染拡大はなし 達成
	【5】総合事業に対応できるヘルパーの人材育成・人材確保 ⇒人材育成 達成 人材確保 未達

結果	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
【1】訪問件数	39	44	45	45	44	50	48	49	52	48	46	54	564	47
【1】介護保険利用状況	28	30	30	31	29	35	35	35	38	35	34	39	399	33.25
【1】総合事業利用状況	11	14	15	14	15	15	13	14	14	13	12	15	165	13.75
【1】新規利用者数	4	5	2	3	1	1	1	1	3	2	3	4	30	2.5
【1】廃止利用者数	2	1	2	2	1	0	2	1	0	1	1	3	16	1.333
【1】登録者数	44	45	46	48	48	50	51	51	52	53	54	54	596	49.7

<p>【1】稼働</p> <p>上期が目標件数に振るわなかった。下期で何とか目標件数に近づいてきたが、入所や入院が相次ぎ目標達成とはならず未達になってしまった。入院の期間等の把握をし、可能な限り新規受け入れを行うように改善していく。</p> <p>サービス内容としては生活援助より身体介護や複合型介護（身体介護+生活援助）の訪問が上回り、売上の数字としては目標達成となった。新規依頼時に、生活援助単体ではなく身体介護を絡む相談ができ、売上アップとなったこともあり、継続していく。</p> <p>【2,3】ヘルパー個々のスキルアップ・事業所のレベルアップ</p> <p>ヘルパー会議（書面会議）を毎月行い、感染症や認知症についての資料を添付し周知。ヘルパー会議レポートにてどのような点が参考になったを記入し提出してもらうことで再認識・再確認を行った。</p> <p>研修の機会を設けることで、個々のスキルアップにつなげられるよう継続して行く。</p> <p>【4】コロナウイルス感染症の感染予防対策の徹底</p> <p>ヘルパーひとり一人に手指消毒液や液体石鹸、マスクや使い捨て手袋を配布し、媒体の持ち込みや持ち出しをしないように徹底周知を行った。</p> <p>訪問時に体温計を持参し、利用者様の検温を行うことで利用者様の体調確認を行い早期発見に努めた。</p> <p>【5】総合事業に対応できるヘルパーの人材育成・人材確保</p> <p>狭山市役所介護保険課の方と打ち合わせを何度も行い「狭山市指定事業 生活援助型ホームヘルパー養成講座」の第1回講座を10月に開催。2名の参加があった。人材確保とはならなかったが、介護の入門編としての開催は継続して行う。</p>
--

生活困窮者に対する相談支援事業

部署目標 (令和4年度)	【1】相談開始から終結まで3カ月以内	達成
	【2】セーフティ事業者連絡会で情報共有	未達
	【3】埼玉県社協への請求は月内に完了する	達成
	【4】当事業に関する研修の参加	達成

相談時期	紹介先	年齢	性別	支援金額	支援費の内訳	支援期間	
令和4年11月	狭山市社協	54	女性	9660	医療費	6日	
令和4年11月	狭山市社協	57	男性	15996	光熱水費	8日	
令和5年1月	トータルサポート	54	女性	10933	光熱水費	1ヵ月28日	
令和5年3月	狭山市社協	73	女性	20280	光熱水費	1日	
令和5年3月	狭山市社協	57	男性	23732	光熱水費	1日	

<p>【1】相談から3ヶ月以内の支援については上記の通り達成できた 但し、同一の方に対して複数回支援していることもあり、支援の上限額（10万円）を超えない範囲で支援できるよう関係者と連携を図る</p> <p>【2】今年度、連絡会は未参加のため未達</p> <p>【3】支援後の請求に関しては、事実発生後すぐに申請することができた</p> <p>【4】令和4年度第2回ブロック会議・研修に参加 今年度は1回の参加であったが、次年度以降も積極的に研修等に参加していく</p>

むさしの森保育園

令和4年度 事業報告書

事業所：むさしの森保育園

部署目標	1.黒字化を目指し、年間稼働率平均118%を達成する 2. 一時預かり事業の年間利用延べ人数を目標1500名とする 3. 離職率10%未満を目指す 4. 年間行事の見直し
------	--

通常保育		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働率		100%	101%	102%	103%	103%	102%	102%	103%	103%	103%	103%	103%	103%
利用数		90	91	92	93	93	92	92	93	93	93	93	93	92.3
内訳	0歳児	6	7	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8.5
	1歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
	2歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
	幼児クラス	52	52	52	52	52	51	51	52	52	52	52	52	51.833
一時預かり事業		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用目標数		85	75	76	56	50	52	60	67	71	96	105	126	919

【部署目標】

1. 黒字化を目指し、年間稼働率平均118%を達成する

4月から0歳児クラスを6人からスタートし、人ずつ増やしていった。0歳児の担当が4名いれば、定員10人まで受け入れられたが、職員が足りなかったため9人で運営を行った。

3歳児クラスと4歳児クラスは弾力運営で2名ずつ子どもの受け入れを行った。

年間稼働率118%にするには必要な時間帯に人が足りずに達成できなかった。

2. 一時預かり事業の年間利用延べ人数を目標1500名とする

年間に何度も新型コロナウイルスの流行がおき、そのたびに利用人数が減ってしまった。

担任2人がかかってしまい閉鎖したこともあった。1500名の達成がむずかしかったが、次の段階の900名は維持できた。

3. 離職率10%未満を目指す

令和4年度の離職は6名で18.2%だった。内訳は、自己都合で前園長、前主任、結婚による引っ越し1名、配偶者の仕事のリズムが変わった為の退職1名、保育の仕事が合わなかった職員1名、令和3年3月末で退職

した職員が夏休みに2か月だけアルバイトで就職して退職した職員1名

問題とすべき退職理由は、保育の仕事が合わなかった職員1名と考えている。

入職前の職員への採用理由を伝えること、マニュアル作成を行い再発を防いでいる。

4. 年間行事計画の見直し

運動会では、保護者も参加する競技を入れたことで保護者も楽しめる運動会が運営することができた。

行事のたびに新型コロナの流行が起き、保護者様に休園など迷惑をかけてしまったこともあった。

こどもの主体性を大切にしたい行事を心がけて行ってきしたが、大人が口を出してしまったりする場面もあった。

子ども達のやってみよう！やアイデアを引き出せるような運営の仕方ができるよう、保育理念の再確認を年度末に行った。